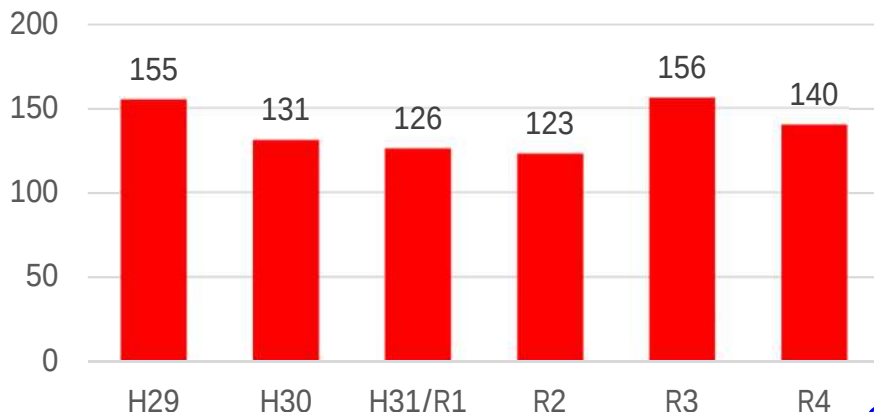


店舗での販売を行う小売業に関わるみなさまへ

労働災害は店舗運営のリスクです！

休業4日以上災害発生状況 (小売業 富山県内)

新型コロナウイルス感染症による労働
災害件数を除く以下同じ



発生頻度が高く特に注意が
必要な労働災害の種類は、

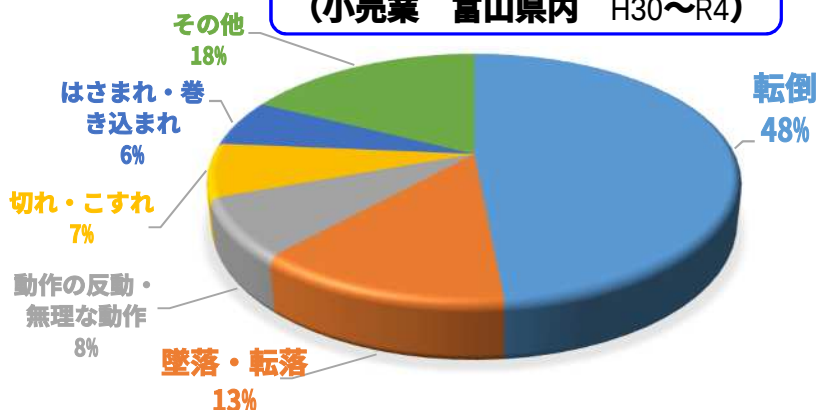
- ① 転倒災害
- ② 脚立、階段等からの墜落
- ③ 動作の反動による腰痛等
です！



小売業の労働災害は
横這い傾向にあります。
全業種に占める業種別割合
では、商業が製造業、建設業に次ぐ3番目を占めて
おり、中でも小売業は商業
全体の約8割を占めています。

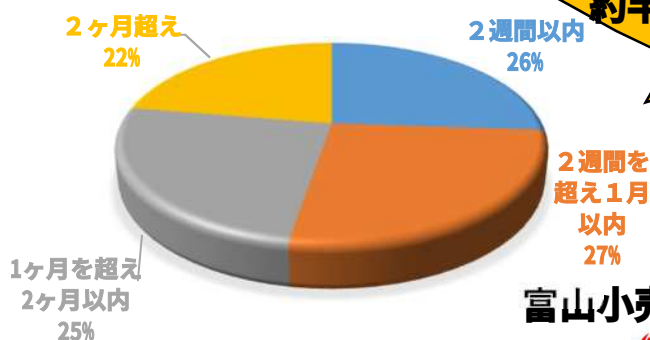
小売業における労働災害
の防止は、重要な課題とな
っています！

事故型別災害発生割合 (小売業 富山県内 H30～R4)



上記の労働災害は発生すると骨折に至ることも多く、治療のための休業期間
が長期に及び、被災された方の心身はもとより店舗運営も大きな影響を受ける
ことになります。**労働災害のリスクは店舗運営においてもリスク要因となるこ
とを踏まえ働く方にとって安全で安心な店舗づくりをお願いします。**

休業見込期間別割合 (小売業 富山県内 H30～R4)



約半数が休業1か月以上！

従業員の負担増！



富山小売業+S a f e協議会
富山労働局

労働災害防止へのアプローチ（店舗での取り組み）



安全管理の担当者を選任し、管理体制を整備しましょう！

三次産業は「顧客の安全対策」は充実していますが、
「従業員の安全対策」は安全担当者が選任されていないために、未実施となっているケースが多くあります。
まずは、店舗でも**安全担当者を選任し組織的な安全管理体制**を整備しましょう。

STEP 1 作業環境、設備を整えましょう！

- ・転倒や墜落（踏み外し）の危険のある箇所等に**危険の「見える化」対策**をしましょう。
- ・**4 S活動（整理・整頓・清潔・清掃）**を実施し、災害の原因となるものを取り除きましょう。
※4 S活動ににつけ（習慣づけ）を加えた5 S活動もあります
- ・**安全作業マニュアル**を作成し、従業員への**安全教育**を実施しましょう。
※安全教育に当たってはシフトや勤務時間に配慮し労働者間でこまめに読合せを行う等工夫が必要です。

バックヤードも確認を！



STEP 2 日常的な安全活動に取り組みましょう！

- ・**KY（危険予知）活動**を実施し、危険の感受性を高めましょう。
- ・**ヒヤリハット報告**を奨励し、危険箇所や作業について情報共有をしましょう。
- ・転倒等の**災害リスクに配慮した作業靴等作業用品**を**支給**しましょう。

予防体操



STEP 3 活動の成果を確認しましょう！

- ・**安全担当者等による定期的な職場点検**を実施しましょう。
- ・**腰痛・転倒予防体操**等を励行し災害に強い職場を育みましょう。
- ・**腰痛健康診断**や**体力チェック**を実施し、従業員の健康状態を確認しましょう。

継続的な安全衛生管理を目指しましょう！



年間の活動を振り返り、実施できたことや課題として残ったことの評価を行い**次年度の活動計画**を策定しましょう。
一連の取り組みを繰り返すことで**継続的な実施体制、活動の定着**を図ってください。

取り組むうえでの注意事項

ポイント1

店舗と本社等との役割分担を明らかに！



経営トップ、本社・本部安全衛生担当者、衛生管理者、エリアマネージャー、店長など**誰が何を担当するのかを組織内で明らかにし、管理の漏れを防ぎましょう。**

ポイント2

取り組みやすいものから順番に！



万全な状態が整うまで活動を保留するよりも、**現在の実態に即して可能なものから**順次取り組みを進めていきましょう。

ポイント3

既存の顧客への取り組み方法の活用も検討！



既存の顧客への取り組みに従業員に対する安全衛生活動を含めて実施することで、新たな取り組みへの抵抗感を軽減でき、自主的活動の定着が期待できます。

ポイント4

災害リスクの高い要因への重点的取り組みを！

・高年齢労働者への対応

商業において50歳以上の高年齢労働者が被災者となる割合は過半数を超えており、**エイジフレンドリーな職場づくり**が求められています。

「高年齢労働者の安全と健康確保のためのガイドライン」を踏まえ対策を行いきましょう。

年齢別割合
(小売業 富山県内 H30～R4)



高年齢労働者対策



・転倒災害への対応

転倒災害は最も災害件数の多い災害で、**県内では被災した場合に約半数が1か月以上の休業**に至っています。

厚生労働省では「**STOP! 転倒災害プロジェクト**」を推進しており、危険の「見える化」をはじめとした各種対策やツールをHPで掲載しています。

転倒災害対策



ポイント5

複数店舗がある場合は店舗間での水平展開を！



店舗間で共通する安全対策や災害事例、ヒヤリハットなどを情報共有することで**企業全体の安全衛生水準の向上**を図りましょう。

店舗での実施事項チェックリスト

チェック項目		☑
1	4 S 活動（整理、整頓、清掃、清潔）の徹底による床面の水濡れ、油汚れ等の小まめな清掃、台車等の障害物の除去、介護、保育等の作業ができるスペース・通路の確保等による転倒・腰痛災害の防止を実施していますか。	☐
2	作業マニュアルを店舗・施設の従業員に周知、教育していますか。	☐
3	K Y（危険予知）活動による危険予知能力、注意力の向上に取り組んでいますか。	☐
4	ヒヤリハット活動による危険箇所の共有、除去を実施していますか。	☐
5	危険箇所の表示による危険の「見える化」を実施していますか。	☐
6	店長・施設長、安全担当者による定期的な職場点検を実施していますか。	☐
7	朝礼時等での安全意識の啓発を実施していますか。	☐
8	転倒防止に有効な靴、切創防止手袋等の着用の推進、介護機器・用具等の導入、使用の推進、熱中症予防のための透湿性・通気性の良い服装の活用などを行っていますか。	☐
9	腰痛予防対策指針に基づく健康診断を実施していますか。	☐
10	腰痛・転倒予防体操を励行していますか。	☐
11	熱中症予防のための休憩場所・時間の確保を実施していますか。	☐

ヒヤリハット報告書式（例）

ヒヤリハット報告書	
所属	職種
氏名	
いつ 年 月 日 (曜) 午前・午後 時 分ごろ	
どこで	
どんな作業で、どうしていたとき	
ヒヤリハットしたこと	
思いつく原因(いくつでも可) 1 設備・機械に問題あり 2 工具・保護具・作業服に問題あり 3 環境に問題あり 4 作業方法に問題あり 5 連絡ミス 6 確認不足 7 無意識に行動 8 考え事をしていた 9 よく見えなかった 改善の提案	10 その他の原因又は左欄の事項の、具体的な内容
責任者のコメント(職名 氏名)	
備考	

取り組みを行われる際は以下もご参考ください。

安全対策全般
(職場の安全サイト)



安全で安心な店舗・施設づくり
推進運動(職場の安全サイト)



転倒・腰痛予防
(厚生労働省HP)



エイジアクション100
(厚生労働省HP)



はしご等からの墜落防止
(リーフレット)



新型コロナウイルスへの
取組(リーフレット)

